

施工説明書

洗面器用湯水混合水栓 ゾエシリーズ KW2208131型



商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分に説明ください。

安全上のご注意（安全のために必ずお守りください）

取り付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。



禁止

してはいけない「禁止」内容です。



必ず実行

必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

湯水を逆に配管しない
水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。

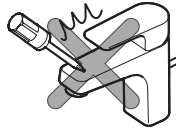


禁止

給湯温度は70℃より高温で使わない（**60℃推奨**）
70℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
また、60℃より高温で使用すると、水栓本体が高温になり、やけどのおそれがございます。**安全のため60℃給湯をお勧めします。**



この説明書に記載された項目以外は、分解・改造しない
破損して、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

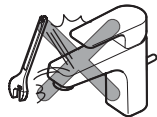


注意



禁止

強い力や衝撃を与えない
破損して、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



引棒に強い力や衝撃を与えたり、引っ張ったりしない
作動不良・故障のおそれがあります。



必ず実行

凍結が予想される場所（気温・室温が0℃以下）で使用する場合は必ず凍結予防を行う
配管や水栓が凍結破損し、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。予防方法は以下のいずれかです。
①暖房などにより、室温が0℃以下にならないようにする。
②水栓から水を出し続ける。



使用上のご注意（取り付けの前に必ずご確認ください）

注意



必ず実行

最低必要水圧（流動圧）
給水・給湯はほぼ同圧で、最低必要水圧以上の水圧（流動圧）を確保してください。
●最低必要水圧（流動圧）0.1MPa以上
●最高水圧（流動圧）0.5MPa以下
●最低必要水圧（流動圧）が確保できない場合は十分な機能が発揮できない場合があります。
●誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧にしてください。
●瞬間式給湯機の場合、給湯機の能力・水圧などの条件により、給湯機が着火しないことがあります。
●小型電気温水器・高圧型電気温水器や、自然冷媒ヒートポンプ給湯機の場合は、最低必要水圧（流動圧）が確保できない場合があります。

給水圧力（流動圧）が0.5MPaを超える場合は、市販の減圧弁で減圧してください。
0.2～0.3MPa程度に減圧してください。

湯水に差圧が出る場合は0.1MPa以内になるように適宜調節してください。



必ず実行

止水栓を取り付けたあと、給水・給湯管内のごみを完全に洗い流してください。
内部にごみが詰まり、吐水量が少なくなったり、水が止まらなくなることがあります。

水勢調節および器具の点検を容易に行えるように、別途止水栓を必ずご用意ください。

給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管してください。
配管には必ず保温材を巻いてください。

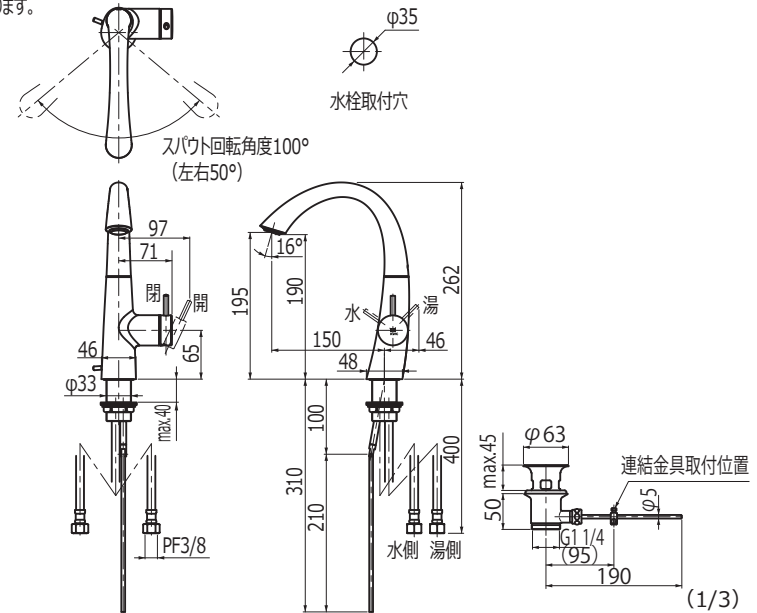
温泉地や温泉成分を含む場合は、温泉成分によりめっきが腐食することがあります。
温泉水の通水は機能障害・腐食の危険性がありますのでお避けください。

仕様

給水・給湯圧力	最低必要水圧	0.1MPa(流動圧)	使用可能水質	水道水
	最高水圧	0.5MPa(流動圧)	使用環境温度	一般地用：1～40℃
使用最高温度	70℃		用途	一般住宅用

完成図

※止水栓への接続は、別途アダプタが必要になります。



取り付け前に

フレキホースを取り付ける前に必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。

最低必要水圧（流動圧）

給水・給湯はほぼ同圧で、最低必要水圧以上の水圧（流動圧）を確保してください。

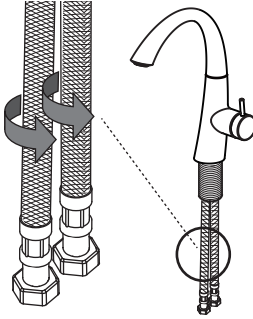


必ず実行

開梱後、フレキホースを軽く持ち、ナット側から見て時計回りに回し、緩みがないことを確認する

- 緩んでいた場合は、再度締め直してください。
- 緩んでいる状態で、取り付けを実施すると、水が漏れる場合があります。

緩みがないことを確認

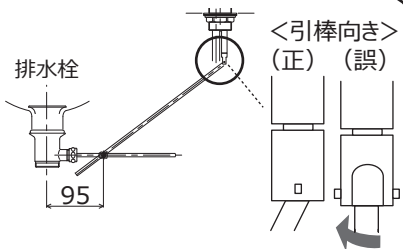


本体の取り付け

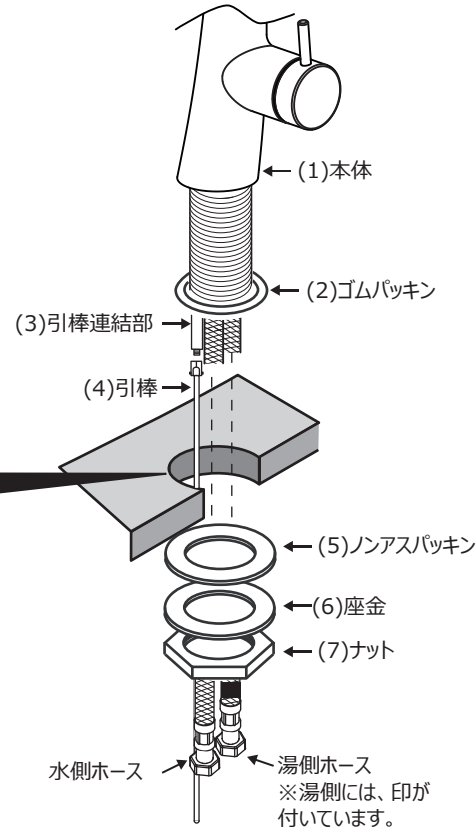
- (2) ゴムパッキンを(1) 本体ねじ部に差し込んでください。
- (3) 引棒連結部に(4)引棒を手締めてねじ込み引棒が排水栓方向を向くように調整すること ※締込み過ぎに注意して下さい。ねじ部が破損するおそれがあります。
- 水栓本体の給水・給湯ホースを水栓取付穴に差し込んでください。
- (5) ノンアスパッキン、(6)座金、(7)ナットの順に(1) 本体ねじ部に取り付け後、水栓本体が正面を向くように固定してください。
- ガタツキや緩みがないか確認してください。



必ず実行



- 手締め後、引棒が排水栓側を向くように少し緩めて調整してください。締込み方向に回そうとすると破損するおそれがあります。
- 連結金具を95mmの位置に調整してください。排水栓が充分開かないおそれがあります。

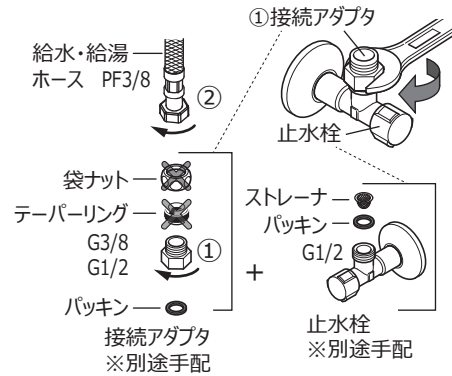


止水栓への接続

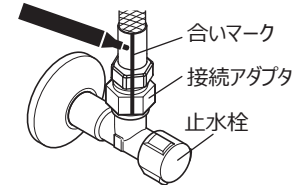
給水・給湯ホース施工

- 止水栓に同梱のストレーナとパッキンを入れ、①接続アダプタに付属のパッキンを入れ、本締めしてください。
- ①接続アダプタに②給水・給湯ホースを手締めて仮固定してください。
※②給水・給湯ホースを接続する際、①接続アダプタに付属の袋ナットとテーパリングは使用しません。
※湯水を逆配管しないでください。水栓を正面に見て右が給水、左が給湯になるようにフレキホースを接続してください。

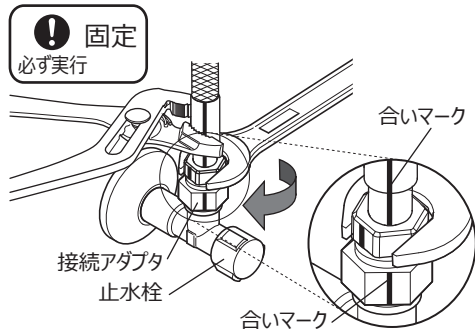
本締め



- 仮固定した給水・給湯ホースと接続アダプタ・止水栓に合いマークをつけてください。
※合いマークは、油性ペンなどで、一直線になるように線を引きてください。



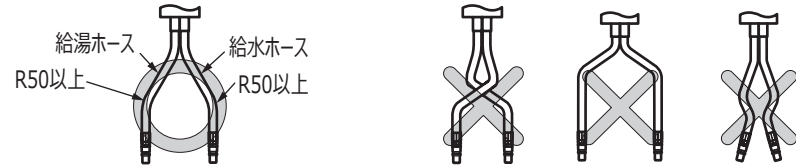
- 給水・給湯ホースのカシメ部分をプライヤーなどでしっかりと固定し、接続アダプタに締め付けてください。



必ず実行

給水・給湯ホースのカシメ部分と接続アダプタの合いマークがずれないように、フレキホースのナットを本締めする
※フレキホースのナットの合いマークは、ずれて問題ありません。
給水・給湯ホースの固定が、しっかりされていないとホースが供回りし、緩んで水漏れの恐れがあります。

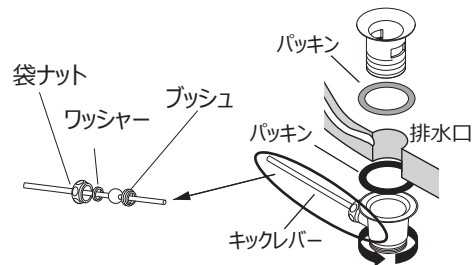
- ホースを必要以上の力で曲げて折らないよう 注意してください。ホースの最小曲げ半径は50mmです。それよりも小さく曲げて使用するとホースが折れ十分な流量が出ない場合や、破損・水漏れのおそれがあります。
- ホースを水栓本体端面から極端に屈曲して施工しないでください。
- ホースを無理に引っ張らないでください。ホースが折れる可能性があります。
- ホース同士の不要な接触は避けてください。外部補強層の摩擦による外傷で、ホース性能の劣化の可能性があります。



付属品の取り付け

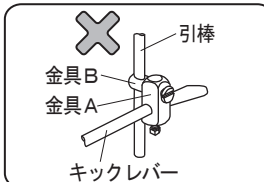
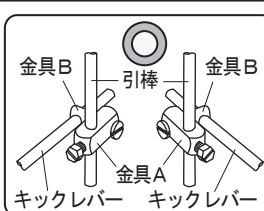
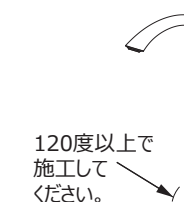
排水ヘッド部の取り付け

1. パッキンを用い、洗面器に挟み込むように締め付けて取り付けして下さい。キックレバーが水栓引棒に向くようにして下さい。



<注意> 同梱の排水ヘッドはヨーロッパ仕様です。国産洗面器にはセット出来ません。

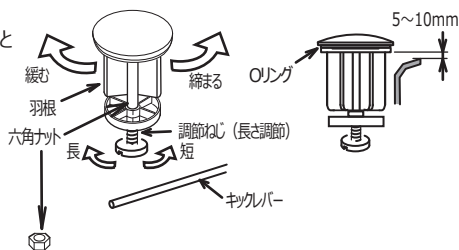
連結金具の取り付け



- ①連結金具を95mmの位置に調整してください。排水栓が充分開かないおそれがあります。
必ず実行 ②トラップと干渉する場合は引棒をカットしてください。

排水栓の調節

1. 排水栓が"開"の状態、排水栓と口金の間隔が5~10mmとなるように調整ネジの長さを調節し、緩まないように羽根を締めて下さい。



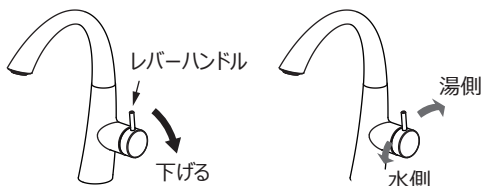
※ 締めが足りないと、使用中に緩んで排水栓の動作不良の原因となることもありますので、ご注意ください。

※ 羽根の下端に固定用の六角ナットが取り付けられています。取り外さないようにご注意ください。

施工後の調整

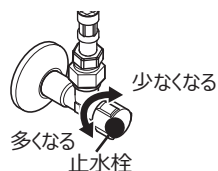
水出し確認

取り付けが完了したあと、配管部の元栓を開け、スパウトから水が出るか確認してください。また、ホース接続部やすき間などから水漏れがないことを確認してください。



流量の調節

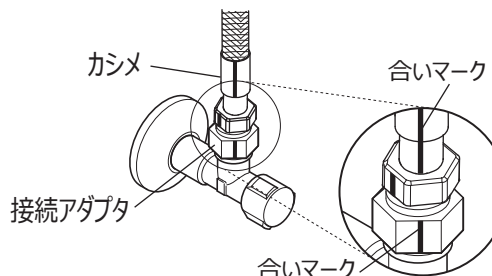
止水栓にて流量を調整してください。ハンドルを湯水最大に回したときに同じ量が出るように適宜調節してください。また、流量が多すぎると水はねが起こる場合があります。



点検項目

①水漏れの確認

- 止水時・通水時に接続部から漏水はしていませんか？
- 給水・給湯ホースのカシメ部分と接続アダプタの合いマークがずれていませんか？ (給水・給湯ホースのナット部分はずれていても問題ありません)



②ガタツキ・ゆるみの確認

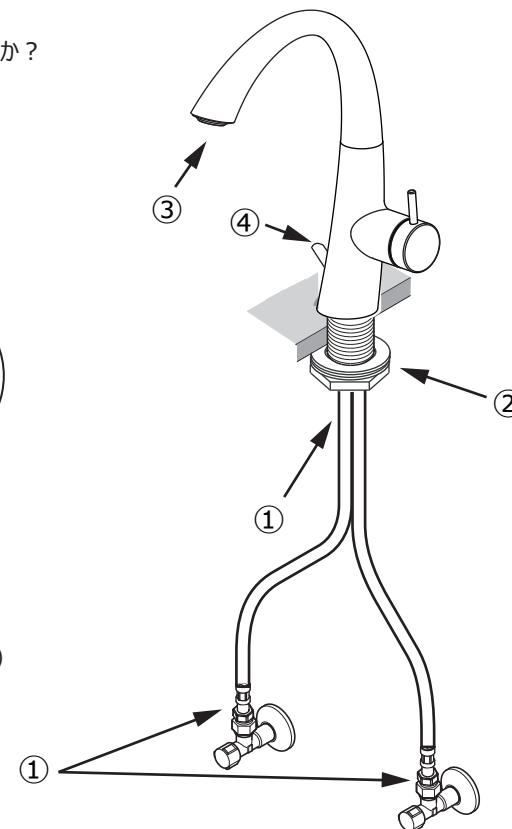
- 水栓のガタツキ、ナットのゆるみはないですか？

③流量の確認

- 吐水口にごみの詰まりはないですか？
- 止水栓は開いていますか？(水の量が少ない)
- 給水圧が不足していませんか？(水の量が少ない)

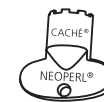
④ポップアップの動作確認

- 排水栓はスムーズに動作しますか？
- 顕著な水抜けはしていませんか？



泡沫栓取外し工具専用工具(商品同梱品)

同梱の泡沫栓取外し工具は必ずお客様にお渡しください。



※当説明書記載の仕様は改訂する場合がございますのでご了承ください。

セラトレーディング株式会社

〒107-0062 東京都港区南青山1-24-3 TEL:03-3796-6151(代)

ホームページ www.cera.co.jp

A008501 2023.03